

学校評価だより

令和7年1月21日

教育目標 自主・協和・錬磨

電話 0258-62-0987

FAX 0258-62-0483

Mail minami@mitsuke-ngt.ed.jp

Homepage <https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/minami/>

今年度2学期の学校評価アンケートに御協力くださり、ありがとうございました。学校の現状を多角的かつ適切に分析して、総合的に判断し、精選し、実施したいと考えております。生徒一人一人の自己肯定感が向上し、学校生活が充実して活力のあるものになるよう、生徒や保護者の皆様のアンケート結果から、9月から12月の成果と課題をまとめました。対策を立てて推進するとともに、皆様の御理解と御支援を賜り、学校生活の充実と心身の健全な成長につなげて参ります。

評価は、目標値に対して、A：「達成」、B：「おおむね達成」、C：「課題がある」としています。

1 【知】 「教え合い、学び合いながら、より確かな学びを追求する生徒」

(1) 教育活動

＜授業改善、職員研修＞



＜教え合い、学び合いの推進＞



(2) 成果目標

(3) 肯定的割合

(4) 評価

前期

後期

前期

後期

① 年3回の国語、数学、英語の基礎学力テストで、80点を上回る生徒が80%以上になる。

78.1%

66.9%

B**C**

② 学校生活アンケート（7、12月）の「授業が分かる」生徒が90%以上になる。

88.2%

89.0%

B**B**

③ 「家庭学習強調旬間で、学年×10分間以上（1年生70分間以上、2年生80分間以上、3年生90分間以上）取り組んだ」生徒が80%以上になる。

1年生 89.3%

1年生 90.1%

2年生 70.0%

2年生 64.5%

3年生 93.3%

3年生 95.7%

A**A**

④ 学期末の評価で3観点のすべての評価がB以上の生徒が80%以上になった教科が8割以上である。

4/15 教科

12/27 教科

C**C**

(5) 成果と課題

① 「授業が分かる」生徒が増加しました。以下の取組によると考えます。

ア 毎時間の授業の始めに、「今日の学習」と「今日の目標（◎）」を生徒に示しました。

イ 単元（一定の教育目的のためにひとまとめにされた教材や学習内容）の学習を始める前に、どのような試験や課題で成績を付けるか、どのくらいできるようになればよいかなどを、生徒に説明してから学習に入りました。

② 国語、数学、英語の基礎学力テストで、80点を上回る生徒が減少しました。授業で家庭学習用の課題プリントを配付して勉強するよう指導しましたが、授業中にテスト対策を行うことが少なく、事前の学習は生徒に任せることが多かったことが要因と考えられます。

(6) 改善点と今後の取組

① 授業改善

ア 全校体制で上記(5)①の取組を継続し、生徒が「何が」「どの程度まで」分かるようになればよいということをはっきりとします。

イ 生徒が、自分に最適と判断した方法や教具を用いて問題を解いたり、課題ができるようになったりするために、教師も教え方や時間、教材などを研究し、複数の多様な足場的支援を用意して、

生徒が自己調整しながら理解を深めることができる、分かりやすい授業をします。

② 基礎学力テスト対策

ア 基礎となる大切な知識の定着を確認するテストであり、合格点以上をとることの重要性を繰り返し生徒に説明します。

イ 授業中に練習する時間を設定したり、プレテストを行ったりします。

③ 家庭学習

ア 「家庭学習強調旬間」（定期テスト前2週間の家庭での学習時間）の結果と定期テストの得点及びメディアの利用時間をクロス集計して、分析した全体の傾向を学校だよりや学年だよりでお知らせします。個人の結果は、学期末に個別に配付します。

イ ワークのページ、プリント、タブレット端末の問題などの復習として家庭学習で行うとよい内容を、教科担任が授業後に教室のホワイトボードに明示します。「復習をしてほしい」「普段の家庭学習で何をしたらよいか分からない」という生徒が、家庭学習で何をすればよいか、どの順序で勉強すればよいかなどを自分で決められるように指導します。

2 【徳】 目指す生徒像「他と助け合い、支え合い、豊かな心を求める生徒」				
(1) 教育活動				
<体育祭> <合唱コンクール> <いじめ見逃しゼロスクール集会> <あいさつ運動>    				
(2) 成果目標		(3) 肯定的割合		(4) 評価
		前期	後期	前期 後期
① 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分の活動や行動を他者から認めてもらったことがある」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		84.5%	86.4%	A A
② 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分の仕事や役割を責任をもって果たしている」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		94.8%	92.9%	A A
③ 学校生活アンケート（7、12月）で、「自分は学校や地域のボランティア活動に主体的に参加している」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		56.7%	41.7%	B C
④ 学校生活アンケート（7、12月）で、「道徳の授業で、他者の意見を聞き、自分の考えをまとめることができた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		98.3%	92.3%	A A
⑤ 学校生活アンケート（7、12月）で、「学校、家庭、地域で自分から先に挨拶をしている」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		91.0%	85.2%	A A
⑥ 学校生活アンケート（7、12月）で、「自他の人権を尊重し、いじめを許さない、見逃さないという気持ちをもって生活した」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。		95.4%	94.7%	A A

アンケート	質問項目	前期	後期
見附市小中学校 共通アンケート	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	93.8%	92.6%
	難しいことでも、失敗を恐れず挑戦していますか。	76.3%	75.6%
	協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。	88.1%	92.1%
南中アンケート	行事の際に目標を意識して行動することができた。	91.5%	94.7%

(5) 成果と課題

① 成果として、次のことが挙げられます。

ア 「行事の際に目標を意識して行動することができた」「協力して何かをやり遂げ、うれし

たことはありますか」「自分の活動や行動を他者から認めてもらったことがある」の肯定的評価の数値が、1学期よりも上がりました。2学期の体育祭や合唱コンクールの際の指導で、生徒に目標をもたせて主体的な活動を促したり、構成的グループエンカウンター「Positive Reframing（肯定的な振り返り）」を通してお互いのよさや活動への貢献を伝え合ったりできたためと考えられます。

イ 「学校、家庭、地域で自分から先に挨拶をしている」の肯定的評価の割合が、1学期よりも上がりました。これは、生徒会の朝のあいさつ運動に毎月取り組んだことで、当たり前挨拶する雰囲気が醸成されたためと考えられます。

② 課題として、次のことが挙げられます。

ア 「学校や地域のボランティア活動に主体的に参加している」がC評価でした。1学期は、地域貢献活動やPTAクリーン作戦など、全校生徒が授業やPTA活動でまわって参加する機会が設定されていました。2学期は、個人で申し込んで参加するボランティア活動が多かったため、主体的な参加の意志が問われました。「手挙げ式一人一ボランティア活動」に1回以上参加するよう呼びかけを継続しましたが、生徒を主体的に参加させる働きかけが十分にできませんでした。

イ 「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している」がB評価でした。学習や生活習慣など、自分の苦手な部分について、継続的に取り組んだり、経験のないことに取り組んだりすることが苦手な傾向があります。

③ 今後の取組・改善点

ア ボランティア活動への参加や地域で行事の運営に加わることが、将来のキャリア形成や高等学校へ送られるキャリアパスポートに反映されることを生徒に強く認識させます。3学期は、ボランティア活動がとてども少なく、天候の面から参加することが難しいことも予想されます。1月に生徒にアンケートを実施します。その結果から、今年度の課題である申込方法や生徒会の働きかけ、呼びかけの仕方などについて改善案を考えます。

イ 各学年や全校で人間関係づくりの活動やソーシャルスキルトレーニングを通して、適切な付き合い方を学ぶ機会を設けます。

ウ 生徒の意見を幅広く取り入れて、主体的に企画し運営する行事や活動を取り入れます。学校のきまりやメディアの適切な利用の再考に生徒が参画し、自治的に学校生活を送るようにします。教職員は、共通認識のもと、生徒の主体的な活動を支え、活動の振り返りを丁寧に見取り、自己肯定感をもつことができるよう指導します。

3 【体】自他の心身の健康維持と体力向上を持続させる意識の定着				
(1) 教育活動 ＜長距離走＞  ＜小児生活習慣病検診＞  ＜薬物乱用防止教室＞  ＜むし歯予防 Week＞ 				
(2) 成果目標	(3) 肯定的割合		(4) 評価	
	前期	後期	前期	後期
① 全国体力テストで県平均を上回る項目が 30 項目以上になる。	20 項目		B	
② 学校生活アンケート（7、12 月）で、「保健体育の 1 時間の学習内容が理解できる」の肯定的評価が全校生徒で 80%以上になる。	97.7%	95.3%	A	A
③ 「My 健」（6、10、1 月）で、「メディアの適切な利用」、「学年×10 分間以上の家庭学習」、「十分な睡眠」の目標達成率が 70%以上になる。	メディア 53.1% 学習 51.7% 睡眠 56.6%	メディア 46.5% 学習 53.5% 睡眠 49.4%	C	C

④ 家庭での時間の使い方を工夫し、メディアと適切に利用するための「家庭での時間割」を作り、定期的に親子で話し合っていると回答する割合が70%以上になる。	31.7%	25.3%	C	C
--	-------	-------	----------	----------

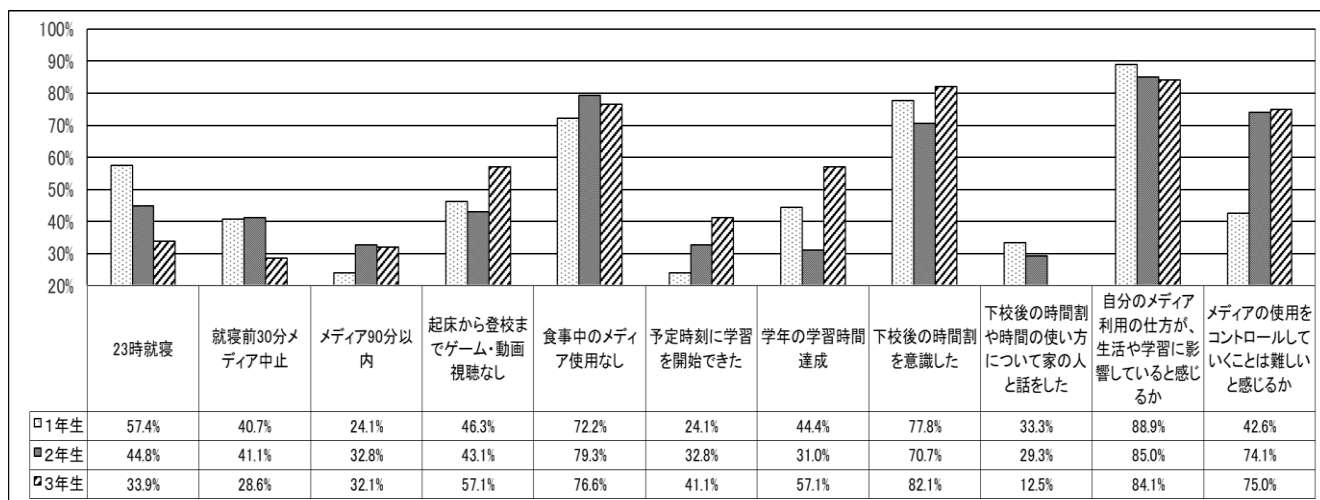
(5) 成果と課題

① 体力テスト

ア 全身持久力の向上のため、一人一人が真剣に長距離走に取り組みました。各運動部で、筋持久力と柔軟性を高めるメニューを入れて実践しました。

イ 保健体育の学習内容が理解できる生徒が、95.3%でした。保健の授業とともに、3年生薬物乱用防止教室や1年生の生活習慣病予防指導などの保健教育を実施しました。振り返りから、どの内容も自身の健康と結び付けて考えることができたことが確認できました。

② 第2回「My 健」(10月)



ア 「就寝前30分には機器を使うことをやめる」ことができた生徒は、1、2年生で40%以上になりました。

イ 「下校後の時間割を意識して生活できた」生徒が、全学年で70%以上になりました。特に、3年生は、「下校後すぐに勉強するようにした」「先ず勉強するようにした」との記述が多くあり、82%の生徒が下校後の過ごし方を意識して過ごしました。学年の学習時間達成率も17.1%上がり、「受験に向けて」の記述も多くありました。下校後の時間割や時間の使い方について、自ら時間の使い方を意識して生活している生徒が増えました。

ウ 「メディアの使用は90分以内」と「23時前就寝」を実行した生徒は、全学年で達成率が下がりました。

(6) 今後の取組・改善点

① 体力テスト

「体力テストで県平均を上回る項目が30項目以上になる」を達成するために、部活動の顧問と連携して冬のトレーニングの中に県平均を下回る種目を意識的に取り入れます。特に筋持久力と柔軟性を向上させるために、サーキットトレーニングや動的ストレッチなどのメニューを具体的に掲示します。

② 生活習慣（「My 健」）

今年度は、家庭での時間の使い方を具体的に提案し、下校後の時間割を作成して取り組みました。下校後の時間割を意識して生活した生徒が70%以上になりましたが、メディア、学習、睡眠の結果は、前期、後期ともに目標値を下回りました。

「My 健」の実施や健康教育を通して、なぜ、メディア、学習、睡眠のバランスのよい生活を送ることが大切なのかを理解できるよう指導します。「My 健」期間の活用とともに、年間を通して御家庭の御理解と御協力をお願いします。

4 【地域連携】 「主体的に地域に貢献する活動を通してふるさとを愛する心をもつ生徒」						
(1) 教育活動						
＜分団集会＞			＜手挙げ式1人1ボランティア活動＞			
						
(2) 成果目標			(3) 肯定的割合		(4) 評価	
			前期	後期	前期	後期
① 学校評価アンケート（7，12月）で、「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦した」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。			76.3%	75.6%	B	B
② 学校評価アンケート（7，12月）で、「人の役に立つ人間になりたいと思う」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。			93.8%	92.6%	A	A
③ 学校評価アンケート（7，12月）で、「自分の住む地域や学校に貢献したいという気持ちを持ち、地域貢献活動や一人一ボランティア活動等に積極的に参加することができた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。			90.6%	74.6%	A	B
④ 学校評価アンケート（7，12月）で、「自分が住む地域の様子（地域の特徴や行事、危険箇所など）について理解を深めた」の肯定的評価が全校生徒の80%以上になる。			84.3%	76.4%	A	B

(5) 成果と課題

① 成果として、次のことが挙げられます。

ア 生徒たちは、人の役に立ちたいという気持ちで、積極的に地域貢献活動に取り組みました。

イ 今年度から、「1人1ボランティア活動（手挙げ式ボランティア）」を実施しました。地域貢献活動を除き、1回以上の地域や学校ボランティア活動に参加した生徒は、81.6%でした（11月、12日実施の生徒会実施のアンケート170名が回答）。全校生徒のおよそ8割の生徒が、自主的にボランティアに参加することができました。下記の感想に示すように、地域コミュニティの行事やボランティアに参加した生徒たちは、地域に貢献できた喜びや自身の成長を実感していることが分かりました。（ア）～（ウ）は、生徒の感想です。

（ア） 自分の役割が終わったら、何もしないのではなく、何かできることはないかを聞いて、動くことができました。

（イ） いつも支えてくださっている地域の人たちに感謝の気持ちを込めて活動できました。地域の方の笑顔を見ることができて、嬉しかったです。

（ウ） 自分ができることを積極的に見付けて行動することができました。地域の方がお祭りを運営している姿を見て、少しでも力になりたいと思いました。

② 課題として、次のことが挙げられます。

ア 「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦した」生徒が、75.6%という結果でした。前期よりもやや評価が下がりました。

イ 「1人1ボランティア活動（手挙げ式ボランティア）」について、全校生徒にアンケートを実施したところ、「もっとボランティア活動の告知をしたほうがよい」や「一人で参加することに抵抗がある」という意見がありました。

③ 今後の取組・改善点

ア 「1人1ボランティア活動（手挙げ式ボランティア）」に参加した生徒の体験や感想を発表したり、生徒がボランティア活動の魅力や意義を感じたりできる機会をつくり、全校生徒が主体性をもって参加する意識を醸成します。そのために、次のような取組が考えられます。

（ア） 生徒の集いで、ボランティアに参加した生徒が感想を発表する。

（イ） ボランティアの参加数を可視化して、全校生徒が「1人1ボランティア」の進捗状況を把握できるようにする。

(ウ) 生徒会総務局を中心に、ボランティアの啓発に取り組む。各委員会の役割を明確にし、広報活動を充実させる。

エ 学級活動や教科指導を通して、教職員が生徒の失敗を許容する指導の構えをもちます。生徒が心理的安全をもって自分の考えを述べたり、新しいことや改善するための提案をしたりできる学級風土や授業づくりに取り組みます。

オ 総合的な学習の時間におけるアントレプレナーシップ教育を通して、自分で企画したり、運営したりする機会を設けるとともに、取組に対する自己評価を通してチャレンジ精神を育みます。キャリアパスポートを活用して、3年間の取組の履歴を残すとともに、学期・学年ごとの振り返りを通して、次に取り組んだり活躍したりする場や役割の見通しをもつよう指導します。

やり方が分からないことや初めてのことで、その場で指示されたり任せられたりすることに対応することへの不安や心配を、自分でよく理解して他者に伝えることも必要だと考えます。このような表現のスキルを身に付けること、伝えてもよいのだという意識をもつてもよいことを指導します。

令和6年度後期学校保護者アンケートの御意見について

後期学校保護者アンケートに御回答くださり、ありがとうございました。今後も、皆様からいただいた評価を受けて、教育活動の改善と充実に取り組めます。

質問・意見・要望	回答
教育的にも給食当番自体はいいですが、給食着を廃止し、個人でエプロン三角巾の準備にしてほしい。	御意見ありがとうございました。現在、教職員で協議しております。来年度の方針は、今後の学校だよりやおたより等でお知らせします。
学校から配られる文書ですが、文字が小さくて老眼の自分には何が書いてあるのか分からない物があります。一生懸命作成していただいた物なので、その気持ちを台無しにしたくありません。可能であれば、文字を大きくして読みやすくしてほしいです。文字を大きくすると、一枚の紙に収まらないといった弊害が生じるかと思いますが、その分形式的な挨拶は最小限にして、要点だけで問題なく思います。	御意見ありがとうございました。今後は、文字の大きさを12ポイント以上にするよう努めるとともに、お知らせしたいことを分かりやすく強調して載せるようにします。
学習時間を増やそうとするのは構いませんが、その活動の主軸を生徒に担わせて、その生徒の学習時間が減る、という本末転倒な活動はやめていただきたいです。また、学習時間の確保だけでなく、中学校では学習の質の担保が課題なのではないかと思います。学習の進度はもちろん、試験の問題についても子どもと話をしていますが、内容に不安があります。また、Chromebookについても活用するのは構いませんが、ただ課題を撮って送る程度であれば、持ち帰らせる必要はないと思います。今一度、学習内容の精査を行い、必要ないものはやめて、生徒も教員も学習の質と量が両立することを考えて実行していただきたいです。	御意見ありがとうございました。御指摘の活動は、学年委員会で取り組んだ学習時間の集計活動のことと理解しました。内容や役割分担などが生徒の過剰な負担にならないよう、実施計画を十分に点検して取り組むよう、学年主任に指導しました。 「学習の質」や試験の内容（おそらく定期テストのことだと思います）についての御意見は、具体的にお伺いしたいです。学校（教頭）にお知らせくださいますようお願いいたします。 Chromebookは、学習課題に加えて、生徒が出席停止の場合のオンライン学習や予定の連絡のためのツールとして活用するため、毎日の持ち帰りを継続します。
お便りをテトルで参照できると便利です。 テトルの有効活用が今後も進んで行くとありが	御意見ありがとうございました。保護者の皆様に確実にお知らせするおたよりや連絡は、テトルでも

たいです。	お知らせします。おたよりについて、teturu での連絡だけで十分であると同うこともあります。生徒にも指導しなければならない内容が含まれるときは、紙面で配付して、内容を読みながら指導することもあります。文書の内容により、紙面と teturu をより効果的に活用して周知します。
持久走の参観が出来るならもっと早く知りたかった。連絡が遅く休みが取れなかった。	御意見ありがとうございました。来年度は、保健体育科の指導計画をさらに早く確認して、できるだけ早くお知らせします。他の種目の指導や天候により変更する場合があるため、年度初に期日を決められないことを御了解くださいますようお願いいたします。
1 学期のアンケート調査で暴言を言う先生がいたとのことでしたが、職員研修を実施した後も、生徒に対して暴言を言う先生がいると言うことを耳にします。子供だから言ってもいいと思っているのでしょうか。他人のお子さんのことですが、言われた言葉にとっても胸が痛みました。発言する前に、よく考えてほしいと思います。生徒の心を傷付けて、平気な先生がいるとは思いたくありません。	大変申し訳ありませんでした。再度このような御指摘をいただき、研修が全く効果を発揮しなかったことが本当に残念でなりません。暴言は、相手の心に深い傷を負わせるものであり、人権を否定するようなことが決してあってはならないことです。教職員には、御指摘を真摯に受け止め、一人一人がこれまでの言動を振り返り猛省するよう厳しく指導しました。このようなことがあるときは、学校（教頭）にお知らせくださいますようお願いいたします。
書初めを机の上で練習していると、子供から聞きました。机の上では書初用紙が入りきらず、良い作品が作成できないと推測されます。書初展での上位入賞を狙っているので、床での練習、清書作成を認めていただきたいです。 ホームページの〇月の活動が毎日更新されていてとても良いです。ホームページの内容をきっかけにして、子供と学校の話ができています。毎日の更新は大変だと思いますが、継続していただけるとありがたいです	御意見ありがとうございました。床面での練習は、場所が十分ではなかったり、とても寒く冷たい環境であったりするため、今後も机の上での書道の学習を継続します。 学校ホームページを御覧いただき、ありがとうございます。teturu と併用して、個人情報に配慮しながら、皆様に学校生活の様子や連絡などをお知らせしようと努めております。毎日の更新に加えて、毎週金曜日には学年だよりも掲載します。翌週の予定や下校時刻、給食や清掃の有無などは、学年だよりで確認することができます。これにより、学校へのお電話での確認は不要になることもありますので、御覧いただきますようお願いいたします。
地域表彰を参観したいです。	御意見ありがとうございました。3 学期は、オープンスクールを予定しておりませんでした。地域表彰の御参観の御希望があったことを考慮して、2 月 26 日（水）午後をオープンスクールとするかを協議します。大変寒い時期ですので、表彰をオンラインで実施する場合もあります。決定したら、teturu やおたよりでお知らせします。
前々からの疑問点があります。真面目に授業を受けていて成績が下がるのは、生徒個人の問題もありますが、個々の授業だけでは不足していて、それ以外の塾などで補完しないと、その単元が完結しない様になっていませんか。それは困りますし、あってはならないことだと思いますので、改善していただきたいです。	御意見ありがとうございました。単元の学習内容が授業で十分に教えられていないということであれば、確かに改善が必要です。しかし、教科書の記載の全てを授業で扱い教えなければならないということではありません。 先述のように、生徒が自分に最適と判断した方法や教具を用いて問題を解いたり、課題ができるよう

	になったりするために、教師も教え方や時間、教材などを研究し、複数の多様な足場の支援を用意して、生徒が自己調整しながら理解を深めることができる、分かりやすい授業をします。
授業の進み方で、早く進んでいる教科と遅れ気味の教科があるようです。子供が理解できないまま進んでしまうと今後が不安なので、3学期でフォローをしてほしいと思います。	授業の進度は、PTA総会で配付した「教育課程一覧表」を守ることを共通理解して進度を維持するよう、教職員に繰り返し指導しております。出張や休暇などにより、同じ教科の授業時数に差が生じることもあります。そのときは、できる限り速やかに差を解消するよう、時間表を変更して対応しております。3学期は、授業時数の残りを見通して履修を完了することを最優先にして取り組みますが、生徒には「その授業で教わることを、その場でしっかりと理解する」ことを意識して真剣に授業を受けることを指導します。
体育館の電気を明るくしてほしい。	御不便をおかけしており、申し訳ございません。電気の交換や工事について、市教育委員会への要望を継続します。
今回の定期テストで、答えが合っているにもかかわらず、字が汚くて読めないという理由で×をつけられました。受験に関わるテストだから、本人も慎重に書いたのに駄目だったって言って落ち込んでいました。もう少しそこら辺は緩くてもいいのではないかと思います。あと、最近の授業の話を聞くと、同じ教科でも先生の教え方にばらつきがあるように感じました。1組を教える先生は分かりやすいのに、2組を教える先生は分かりにくいとか言っていました。先生もそれぞれなのでばらつきがあるのは仕方がないことなのですが、なるべく統一して同じく教えていただきたいです。	御意見ありがとうございました。 テストは、多くの場合に他者が評価するものです。そのため、誤字・脱字や記述内容などの全ての評価や判断は、他者にゆだねられます。解答者として、最善の解答を作成することの重要性和必然性を、生徒に事前に指導する内容に加えます。 教師の指導を全て揃えることには限界があります。分かりやすい、分かりにくいなどは、授業を受ける側の主観であり、判断もそれぞれです。生徒には、授業アンケートで教科担任に要望を伝える機会があります。教員評価面談で、生徒の記述に対する授業改善について、教科担任として授業をどのように改善するかを述べてもらいます。学校体制として、先述のように、生徒が自分に最適と判断した方法や教具を用いて問題を解いたり、課題ができるようになったりするために、教師も教え方や時間、教材などを研究し、複数の多様な足場の支援を用意して、生徒が自己調整しながら理解を深めることができる、分かりやすい授業をします。
生徒と教師の皆さんの関わりがあまり見えてこないと思います。	御意見ありがとうございました。学校ホームページや学年だより、学級だよりなどで、学校生活の様子を生徒の活動を中心にお知らせしているため、教師の働きかけなどが分かりにくかったかもしれません。「関わり」が授業のことなのか、学校生活全体に関することなどがなど、具体的にお伺いしたいです。学校（教頭）にお知らせくださいますようお願いいたします。